

心一つに熱い訓練

平成18年度の村消防団特別点検（村、村消防団、村婦人消防協力隊主催）が4月24日、普代中学校グラウンドを主会場に行われました。道合政喜団長を中心に団本部や各分団などが、訓練の成果を披露。「村を守る」——皆が心一つに熱い訓練を展開しました。



「団長に敬礼——」



きびきびとした動作で行われた中隊訓練

安心で安全な村願う

特別点検には村消防団105人、村婦人消防協力隊（大上澄子隊長）45人のほか、久慈消防署普代分署（高柳利春署長）や村老人クラブ、少年消防クラブ、幼年消防クラブなど約250人が参加。午前7時30分、ラッパ隊を先導に入場し訓練が始まりました。

統監の深渡宏村長は「今の時代は複雑な社会情勢などから消防団らの使命が多岐にわたっています。村民の生命と財産を守るため、

有事に備え消防防災活動に尽力してください」と訓示。続いて消防団員らの功労者52人の表彰や平成17年度岩手県消防表彰式で表彰された19人の表彰披露も行われました。

規律訓練では小隊・中隊訓練、ポンプ操法訓練など、グラウンドに響く指揮官の号令に合わせ、きびきびとした動作で訓練の成果を披露。婦人消防協力隊のAED（自動体外式助細動器）を用いた心肺蘇生法訓練や

老人クラブ会員、少年消防クラブなども初期消火訓練を行いました。

その後、消防団員らとタンク車など10台が村中心街を分列行進し、安心で安全な村を願いました。

特別点検の最後は、サイレンとともに各分団のタンク車、ポンプ車が役場裏の普代川に集合。統制ののれた一斉放水で本番さながらの訓練を展開しました。

表彰、表彰披露された方々は、左表のとおりです。